

My CareerStudy



①



右上のメニュー
(ヨコ3本線) を
タップ

②



「講座を探す」
をタップ

③



選んだ社会人基礎力の大きなカテゴリーをタップ
例1: 「主体性」を選択した場合→「前に読み出す力(アクション)」をタップ
例2: 「傾聴力」を選択した場合→「チームで働く力(チームワーク)」をタップ

④



スクロールし、
該当する社会人
基礎力の動画を
探す

「受講する」
をタップ

⑤



動画はセクションにわかれており、セクションごとに再生することができます。
こちらから、
① ●●力とは
④ 実生活での取り組み例
を視聴してください。
早く見終わった人は、①④以外の動画も視聴しましょう。



41ページに
メモできます。

授業内で見きれなかった部分は、宿題で視聴しましょう。
すべてのセクションを視聴すると確認テストが実施できます。
確認テストの採点結果は41ページにメモしてください。

3時間目~4時間目の間で、
生徒のみなさんには宿題ページに取り組んでもらいます。
取り組むワークのページは下記となります。

①取り組む社会人基礎力「勉強編」 →ワーク27ページ

(★貴校内締切： /) →3時間目実施後、3日以内を目安に

②取り組む社会人基礎力「生活編」 →ワーク29-40ページの中から、
自分が選んだ力に該当する1ページ

(★貴校内締切： /) →3時間目実施後、3日以内を目安に

③スキル動画の視聴&確認テスト実施、行動記録 →41-42ページ

★取り組み次第、随時記入

④他者に伝わるように整理し、発表に向けて整理 →43-44ページ

(★貴校内締切： /) →4時間目実施前日まで

※重要※

4時間目まで間が空く場合は、何もしないまま4時間目を迎えるということがないように、生徒様に必ずリマインドをお願いします。

■ 4 時間目 アクションプラン発表～振り返り (P45～50)

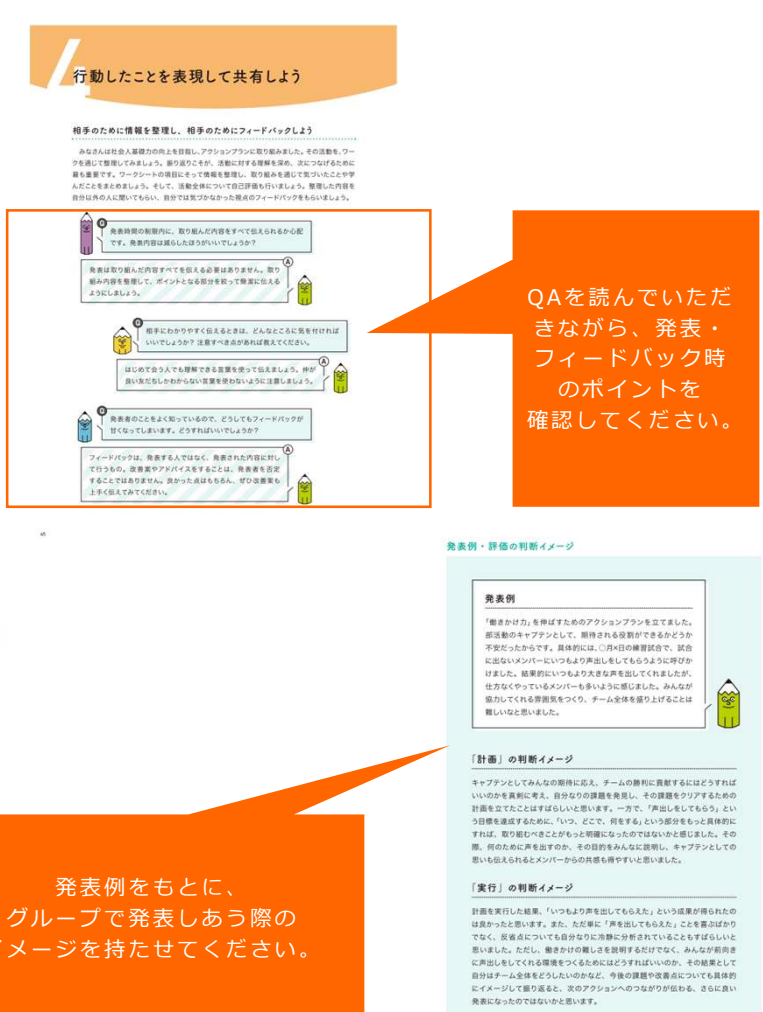
<準備するもの>

ワークブック

生徒はグループで着席（他者の発表を聞くため、評価をするため） ※5名ずつを推奨

<4時間目のねらい>

1. 日常で自分が取り組んだアクションプランの要点を整理し、他社に伝わるよう表現する。
2. グループでフィードバックを行い、客観的な意見を取り入れる。
3. 他者の発表から学びを得る

時間	内容	進行トーク (例)
1分	<p>●前回との接続、導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の実施から日が経っているため、実施したことの簡単なおさらいをする。 ・今回は、日常で取り組んだ「アクションプラン」について発表することを伝える。 	<p>「人生100年時代では、長いキャリアの中でスキルをアップデートする必要があり、社会人基礎力はその土台の力だと知りました。そのうえで、12の要素のうち、自分が伸ばしたいものを勉強編で1つ、生活編で1つ選び、生活の中で意識して実行するためのアクションプランを策定しました」</p> <p>「今日は、アクションプランに取り組んだ結果を他者へ発表します。アクションは起こして終わりではありません。振り返りをすることで次へとつながります」</p>
4分	<p>●行動したことを表現して共有しよう (45-46ページ)</p>  <p>相手のために情報を整理し、相手のためにフィードバックしよう</p> <p>みなさんは社会人基礎力の向上を目指し、アクションプランに取り組みました。その活動も、ワークブックで整理してみましょう。振り返りこそが、活動に対する理解を深め、次につなげるための重要な要素です。ワークブックの45～46ページで発表を準備し、振り返りを通して学びあおう。自分だけでなく、自分以外の人も見てもらい、自分では気づかなかった視点のフィードバックをもらいましょう。</p> <p>発表準備の段階内に、取り組んだ内容をすべて伝えられるか心配です。発表内容は短くしたほうがよいでしょうか？</p> <p>発表は取り組んだ内容をすべて伝える必要はありません。取り組んだ内容を整理して、ポイントとなる部分を絞って簡潔に伝えるようにしましょう。</p> <p>相手にわかりやすく伝えるときは、どこに何を付け加えたいでしょうか？ 注意すべき点があれば教えてください。</p> <p>ほかで多くの人でも経験できる話を聞かせてください。自分が思いあきらめたりしない言葉を聞きたいように話しましょう。</p> <p>発表者のことをよく知っているため、どうしてもフィードバックが甘くなってしまいます。どうすればよいでしょうか？</p> <p>フィードバックは、発表する人ではなく、発表された内容に対して行うもの。改善案やアドバイスをするときは、発表者を否定することはありません。褒めつつも、ぜひ改善案も上手に伝えてください。</p> <p>発表例</p> <p>「働きかけ」を伸ばすためのアクションプランを立てました。部活動のキャプテンとして、期待される役割ができるかどうか不安だったので。具体的には、「3月4日の練習試合で、試合に出ないメンバーについても声を出してもらうように呼びかけました。結果的にいつも声を出してきてくれたので、仕方なくやってくれるメンバーも多くなりました。みんなが協力してくれる雰囲気をつくり、チーム全体を盛り上げることは難しかったです。</p> <p>「計画」の判断イメージ</p> <p>キャプテンとしてみんなの期待に応え、チームの勝利に貢献するにはどうすればいいかを真剣に考え、自分なりの課題を洗い出し、その課題をクリアするための計画を立てたことは素晴らしいと思います。一方で、「声を出してもらう」という目標を達成するために、「いつ、どこで、何をやる」という部分をもっと具体的にすれば、「取り組むべきこと」と明確にならなくてはいけません。その間、向のために声を出すのか、その目的をみんなに説明し、キャプテンとしての思いが伝えられるとメンバーからの共感も得やすいと思います。</p> <p>「実行」の判断イメージ</p> <p>計画を実行した結果、「いつもより声を出してもらえた」という成果が得られたのは良かったと思います。また、ただ単に「声を出してもらえた」とことを喜びばかりでなく、反省点についても自分なりに冷静に分析されていることも素晴らしいと思います。ただし、働きかけのし方を説明するだけでなく、みんなが前向きに声を出してくれる環境をつくるためにはどうすればいいか、その結果として自分はチーム全体をどうしたいのかなど、今後の課題や改善点についても具体的にイメージして振り返る。次のアクションへのつながりが伝わる、さらに良い発表になったのではないかと思います。</p>	<p>「ここでは、発表をするときやフィードバック時のポイントについて学んでおきたいと思います。鉛筆マークのところにQ&Aがいくつか記載されていますね。読んでみましょう」</p>

時間	内容	進行トーク（例）
----	----	----------

●【発表】互いの取り組みを客観的に評価しよう（47-48 ページ）

- ・ 5人グループをつくり、グループ単位で発表および評価。
- ※発表は1名あたり約5分1セットを目安とする。
 - ・ 発表3分以内
 - ・ グループメンバーからFB2分以内

5人グループでの発表および評価は、以下のメリットがあります。

- ・ 発表者：発表時間が長く確保でき、具体的に発表しやすい。その場で他者からコメントが貰える。
- ・ 評価者：必ず一定量のFBする必要があるため、しっかりと発表を聞く姿勢をとりやすい。
- ・ 発表終了後、振り返りの時間がしっかりと確保できる。

※割り切れない場合は、4名での実施などでも問題ありません、

ただし、ワークブックでは自分以外のグループメンバー4名分の発表をメモする記入欄しかないため、6人以上は避けるように調整をお願いいたします。

30分

ワーク 互いの取り組みを客観的に評価しよう

<p>発表者1</p> <p>【発表】 取り組みの社会人基礎力</p> <p>立てた計画と取り組みの結果（メモ）</p> <p>良かった点</p> <p>改善点、アドバイス</p>	<p>発表者2</p> <p>【発表】 取り組みの社会人基礎力</p> <p>立てた計画と取り組みの結果（メモ）</p> <p>良かった点</p> <p>改善点、アドバイス</p>
<p>【評価】 取り組みの社会人基礎力</p> <p>立てた計画と取り組みの結果（メモ）</p> <p>良かった点</p> <p>改善点、アドバイス</p>	<p>【評価】 取り組みの社会人基礎力</p> <p>立てた計画と取り組みの結果（メモ）</p> <p>良かった点</p> <p>改善点、アドバイス</p>

立てた計画と取り組みの結果について、生徒同士で共有し、フィードバックし合おう。良かった点を発表し、改善点もアドバイスできるようにする。

<p>発表者3</p> <p>【発表】 取り組みの社会人基礎力</p> <p>立てた計画と取り組みの結果（メモ）</p> <p>良かった点</p> <p>改善点、アドバイス</p>	<p>発表者4</p> <p>【発表】 取り組みの社会人基礎力</p> <p>立てた計画と取り組みの結果（メモ）</p> <p>良かった点</p> <p>改善点、アドバイス</p>
<p>【評価】 取り組みの社会人基礎力</p> <p>立てた計画と取り組みの結果（メモ）</p> <p>良かった点</p> <p>改善点、アドバイス</p>	<p>【評価】 取り組みの社会人基礎力</p> <p>立てた計画と取り組みの結果（メモ）</p> <p>良かった点</p> <p>改善点、アドバイス</p>

●グループでの発表と気づきをシェアしよう

グループでの発表を通じて、「どんな気づきがあったか」「他者からどのようなフィードバックがあったか」共有してくれる生徒を募り、全体に向けて発表してもらう。

8分

●プログラムの総括

・先生方から見た、取り組み全体についての所感を生徒様方へお伝えください。

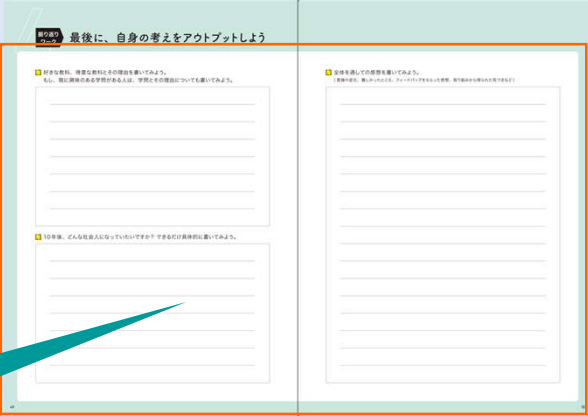
2分

■ 事後プログラム：4時間目終了後の振り返りワーク

<準備するもの>

ワークブック、スマートフォン

※生徒の皆様にはスマートフォンの充電をしておくことを事前にお伝えください。

時間	説明内容の例	参照箇所・ポイント
25分	<p>●アウトプットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークブック49、50ページを使用し、自分自身の考えを整理していく。 <p>◆進行トーク（例） 「49、50ページを開いてください。今回は自身の考えを言語化していく時間になります。また、キャリア教育プログラム全体についても振り返っていきましょう。好きな教科、得意な教科については『なぜ好き（得意）なのだろう』と、深掘りをしてみてください。また、10年後にどんな社会人になりたいかは、出来るだけ具体的にイメージして書いてみてください。2つが書けた人は、50ページの全体を通しての感想を書いてください。最後に書いてもらった内容をグループで共有してもらおうので、しっかり書いてくださいね。」</p> <p>できるだけ具体的に記載するようお声がけください。</p>	
20分	<p>●グループで共有</p> <ul style="list-style-type: none"> 2～5名のグループで記載した内容をお互いに共有する グループの人数は残り時間に合わせて調整してください。 1グループの人数が多い場合は時間がかかります。 <p>◆進行トーク（例） 「◆名のグループに分かれましょう。先ほど記載した内容を各自共有してください。時間は15分です。最後にみんなの前で発表してくれる人は何人が共有してもらいますね。では、グループに分かれて共有を始めてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> グループ内での共有終了後、時間があれば教室全体で共有してくれる生徒、何名かに発表してもらおう。 全体を通しての先生の感想を伝える。 <p>こちらですべてのプログラムが終了となります。 お疲れ様でした。</p> <p>ワークブックを一度回収いただき、生徒のみなさんが記入した内容をご確認ください。</p> <p>少しでも生徒のみなさんに役に立つプログラムがご提供できていたら幸いです。</p>	